

枚方市
小中学校での食育の
取り組みに関するアンケート
結果報告書（案）

令和5年6月

枚 方 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施要領	1
3. 報告書の見方	1
第2章 調査結果	2
(1) 地域人材を活用した食育の取り組み実施の有無	2
(2) 地域人材の活用に関する冊子の利用有無	4
(3) 今後取り組みたいと考えている食育の取り組み	5
(4) 令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み	6
(5) 令和3年度における保護者に対する食育の取り組み	8
(6) 食育に関する取り組みの課題等	9

第1章 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、平成30年3月に策定した第3次枚方市食育推進計画策定の最終評価に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
枚方市内の公立 小学校（44校）、 中学校（19校）	63校 小学校：44校 中学校：19校	52件 小学校：34校 中学校：18校	82.5% 小学校：77.3% 中学校：94.7%	令和4年 12月2日 ～ 令和5年 2月20日	インターネット 及び郵送

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

第2章 調査結果

(1) 地域人材を活用した食育の取り組み実施の有無

問 1	令和3年度に、貴校において地域人材を活用した食育の取り組みを実施されましたか。実施されていたら、下記の表に具体的な内容をご記入ください。(実施されていない場合は、「該当なし」と記載してください。)
-----	--

<① 地域人材を活用した食育の取り組み実施の有無>

【全体】

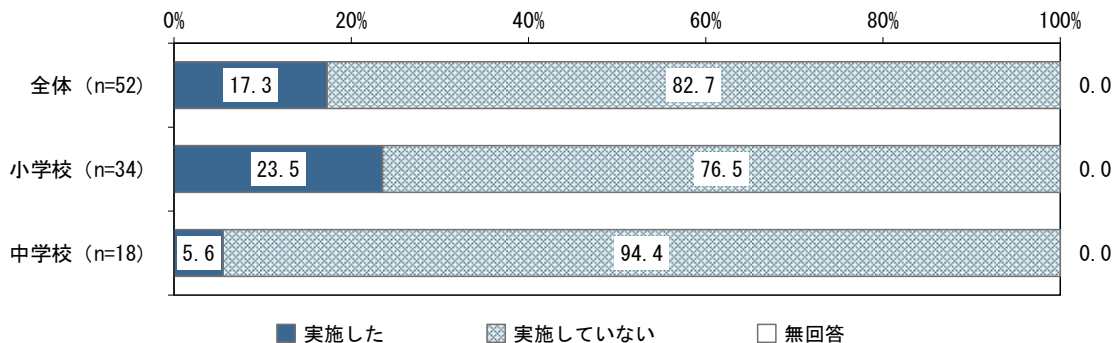
地域人材を活用した食育の取り組みについては、「実施していない」が82.7%、「実施した」が17.3%となっています。

【小学校】

小学校では、「実施していない」が76.5%、「実施した」が23.5%となっています。
また、小学校の「実施した」(23.5%)では、中学校の「実施した」(5.6%)より18.0ポイント高くなっています。

【中学校】

中学校では、「実施していない」が94.4%、「実施した」が5.6%となっています。



<② 実施した地域人材の内訳>

【小学校】

- ・地域の農業者 (5件)
- ・食品関連事業者 (2件) (サントリーホールディングス (株)、北村みそ本家)
- ・J A北河内農協 (2件)
- ・地域のボランティア

【中学校】

- ・地域の農業者

<③ 実施した取り組み内容>

【小学校】

- ・地域の農地や校内で農業体験（6件）
- ・農業見学
- ・調理実習
- ・味噌づくり体験

【中学校】

- ・調理実習
- ・食に関する授業などの実施

<④ 実施した対象（学年）>

【小学校】

- ・5年生（8件）
- ・4年生

【中学校】

- ・3年生

(2) 地域人材の活用に関する冊子の利用有無

問 2

枚方市では、地域人材の活用に関する冊子を作成し、令和元年度に各校へ配付しホームページに掲載していますが、貴校において地域人材を活用する際、冊子を利用されたことはありますか。また、冊子についてご意見があればご記入ください。

<① 地域人材の活用に関する冊子の利用有無>

【全体】

地域人材を活用した食育の取り組みについては、「ない」が98.1%、「ある」が1.9%となっています。

【小学校】

小学校では、「ない」が100.0%となっています。

【中学校】

中学校では、「ない」が94.4%、「ある」が5.6%となっています。



<② 活用した取り組み内容>

【中学校】

- ・性教育 (NPO法人SEANによる出前授業)

(3) 今後取り組みたいと考えている食育の取り組み

問3

貴校において、今後取り組みたいと考えておられる食育の取り組みについて、具体的な内容がありましたら、ご記入ください。

【小学校】

- ・ 田んぼを貸していただいて、5年生の稲作体験をしたい。
- ・ スポーツ栄養学や健康食など、子どもたちが興味を持っている取り組める内容。成長期を意識した食事など。
- ・ 幼小中の系統だった食育の取組みを進めたい。生活に生きる教科学習として食育にも取り組みたい。
- ・ 日本の伝統食（みそ作り等）を教えてほしいです。
- ・ コミュニティ関係者、ボランティア等の協力を得て、地場産の食材を使った料理や伝統食、行事食の児童・保護者への伝達。
- ・ 枚方の郷土料理について詳しく学習したい。
- ・ 伝統食などを伝達してほしい。
- ・ 農業体験。
- ・ 継続的な農業体験＝稲だけでなく、小麦やソバなど。
- ・ 高学年において、社会科での米作りや家庭科での栄養について取り組みがあればと思います。
- ・ 児童が体験を伴って学べる食育に取り組みたい。
- ・ 地域の農地に出向いて田植え、稲づくり、玉ねぎの収穫体験。食育に関する人形劇。
- ・ ゲストティーチャーを招待して「食のバランス」「栄養」についてのお話。
- ・ 社会科や生活科の内容に関係した食育について。
- ・ 枚方市の郷土料理について知りたい。

【中学校】

- ・ 中学校給食コンテストに応募参加。
- ・ 職業講和で栄養教諭の派遣。
- ・ 調理師や専門家などの参画による調理実習。
- ・ 栽培から加工までを行う。例：大豆栽培をして、豆腐を作る。

(4) 令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み

問 4

令和3年度に、貴校において児童・生徒に対してどのような食育の取り組みをされましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください

<① 令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み内容>

【全体】

令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み内容については、「栄養バランスや郷土料理等の食に関する授業の話」が59.6%で最も高く、次いで「調理実習の実施」が55.8%、「農業・栽培体験の実施」が51.9%と続いています。

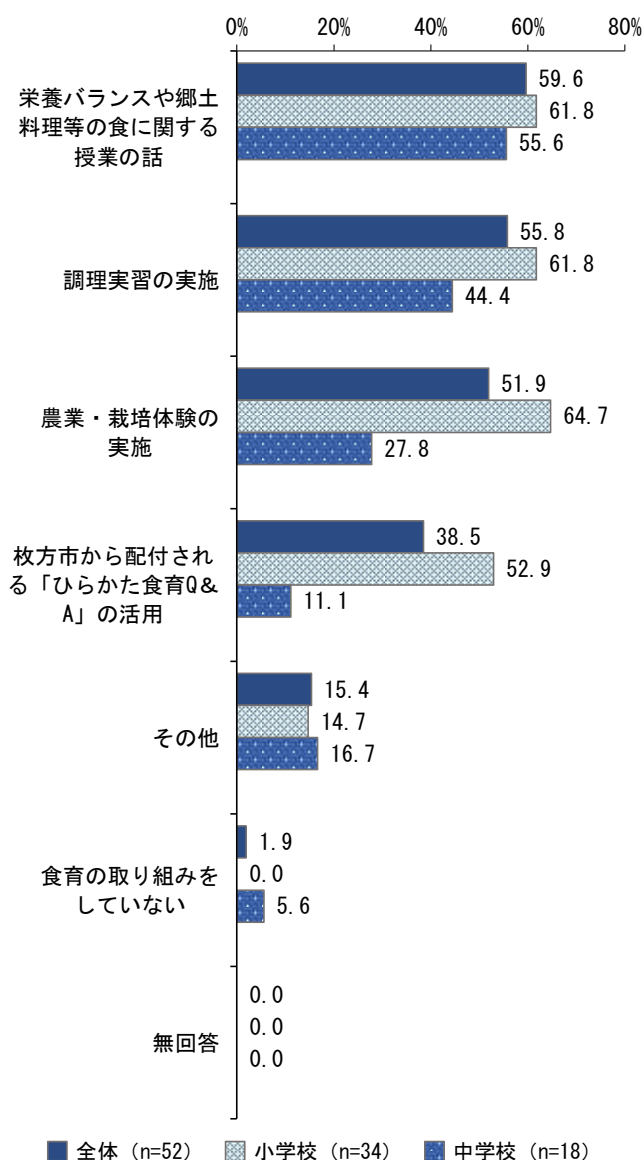
【小学校】

小学校では、「農業・栽培体験の実施」が64.7%で最も高く、次いで「栄養バランスや郷土料理等の食に関する授業の話」、「調理実習の実施」が61.8%、「枚方市から配付される「ひらかた食育Q&A」の活用」が52.9%と続いています。

また、全ての取り組み内容において、小学校は中学校の割合を上回っています。

【中学校】

中学校では、「栄養バランスや郷土料理等の食に関する授業の話」が55.6%で最も高く、次いで「調理実習の実施」が44.4%、「農業・栽培体験の実施」が27.8%となっています。



<② 「その他」の内容>

【小学校】

- ・エンドウ豆のさやむき
- ・2年生に食育「ひみこのはがいーぜ」実施
- ・おはしの使い方
- ・給食が行っているSDG s についての情報提供

【中学校】

- ・家庭科の授業（食生活について扱ったのみ）
- ・保健だよりによる保健指導
- ・昼食（給食）時に、行事食などについての説明

(5) 令和3年度における保護者に対する食育の取り組み

問5

令和3年度に、貴校において保護者に対してどのような食育の取り組みをされましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

<① 令和3年度における保護者に対する食育の取り組み内容>

【全体】

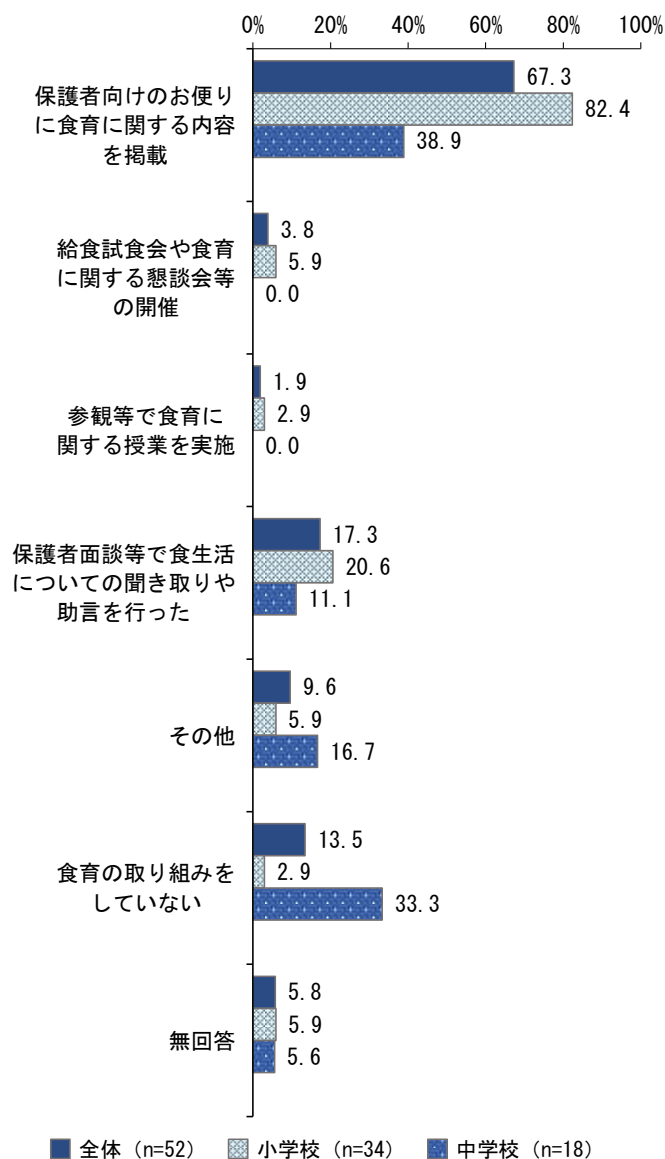
令和3年度における保護者に対する食育の取り組み内容については、「保護者向けのお便りに食育に関する内容を掲載」が67.3%で最も高く、次いで「保護者面談等で食生活についての聞き取りや助言を行った」が17.3%、「食育の取り組みをしていない」が13.5%と続いています。

【小学校】

小学校では、「保護者向けのお便りに食育に関する内容を掲載」が82.4%で最も高く、次いで「保護者面談等で食生活についての聞き取りや助言を行った」が20.6%、「給食試食会や食育に関する懇談会等の開催」、「その他」が5.9%と続いています。

【中学校】

中学校では、「保護者向けのお便りに食育に関する内容を掲載」が38.9%で最も高く、次いで「食育の取り組みをしていない」が33.3%、「その他」が16.7%と続いています。



<② 「その他」の内容>

【小学校】

- ・保護者のPTA活動（給食委員会）で、放送による食育啓発を行った。

【中学校】

- ・第一調理場発行の給食だよりをクラスルームに掲載。

(6) 食育に関する取り組みの課題等

問6

貴校において、食育に関する取り組みを行うにあたり、困っていることや課題等がありましたら、ご記入ください。

【小学校】

●人員・体制に関すること

- ・栄養教諭が配置されていないため、食育の指導・準備をするのが難しい。(栄養教諭を配置してほしい)(5件)
- ・担任とのT・T形式の授業をもっと推進させたい。

●地域人材の確保に関すること

- ・5年生の稲作体験ができず、バケツ稲を育てたがなかなか実らなかったで田んぼを貸していただける人を探しています。
- ・地域の農業者と学校をつなげてほしい。今の人材は、田植えについては来年度はしないという話を伺っている。同じ体験を継続的に行うためにも、農業者と学校がつながる橋渡しをしていただきたい。地域人材も永続的なものではないため。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で調理実習ができなかった。地域人材の方が高齢化しており、今後学校農園でサツマイモの栽培などをするとき新しい人材の確保が必要である。

●取り組みの内容に関すること

- ・郷土料理や地域の食糧生産についての児童向けの資料が少ない、古い。送っていただくリーフレット等はあるが、いづどんなものが届くか分からないので、計画的に活用できなかつたり、必要な時になかつたりする。
- ・食育を実施したいと思いつつ、あまりできていません。
- ・食事やその内容・大切さについて教育はできても、結局家庭での土台に返ってしまう。
- ・食育に関して保護者への理解関心を高めること。
- ・様々な家庭の状況がある中で、例えば「どんな朝食を食べたか」という内容を取り扱う際にも配慮が必要である。また、実際に収穫や下ごしらえなどの作業を体験させたいが、衛生面で多くの配慮が必要である。
- ・なかなか教科との連携が取れていません。
- ・発達段階に応じた系統的な「食育」の指導。
- ・令和4年度は地域の方と米作りを行った。コロナなどの状況で実施できないことが増えている。

【中学校】

●新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナ禍により、調理実習が一部しか実施できていない。
- ・コロナの影響で調理実習をできない時期が続いた。
- ・コロナの蔓延により、調理実習などに制限がかかり、思うように進めることができなかった。

●取り組みの内容に関すること

- ・食物アレルギー生徒の増加により、調理実習時の事前調査や配慮が大変になっている。また、物価変動と高騰、配達方法など課題がある。

●人員・体制に関すること

- ・食育をきちんと進めることができる資質を備えている教員は家庭科教員1人のみである。全クラスの家庭科の授業を担当しており、学校全体の食育のみに注力できない。
- ・食育をより具体的かつ系統的に行うにあたり専門職である栄養教諭の派遣や設置が必要だと思う。今後、教科でもどんな先生でも食育をしていくべきだと思いますが、まずは枚方市の小中学校で、配属されている学校だけでなくすべての学校で栄養教諭などの専門的な先生から食育が学べる時間があればと思っています。よろしくお願いします。